

栃木県景観アドバイザープロフィール

御氏名	清水 和也（しみず かずや）
現職名等	(株)アーバンデザインコンサルタント取締役 計画部部長
アドバイスできること	<ul style="list-style-type: none">○景観計画、景観条例の策定○地域の景観に配慮した建築物等の色彩計画、基準づくり○屋外広告物の規制、誘導の考え方○地域の景観資源を活かした景観まちづくり
経歴・活動実績・資格等	<p>(経歴、活動実績等) 九州芸術工科大学 環境設計学科 卒業 (S62 年卒)</p> <p>(活動実績) 那須塩原市景観審議会委員 (H22.4～)</p> <p>(資格等) 一級土木施工管理技士 一級造園施工管理技士 技術士（建設部門／都市及び地方計画）</p>
ホームページ・著書等	<p>(ホームページアドレス)</p> <p>(著書等)</p>

私の景観への「思い」、「好きな景観」など



景観は誰にでも入り込むことのできる分野です。「もの」を見て何かを「感じる」ことが景観の第一歩。でもあまり入り込んでしまうと、旅行に行っても駅前の看板や建物の色、ファニチャーのデザインなどが気になって、観光気分が薄れてしまいますが…。

写真は、横浜市中区にある、かつて新港ふ頭の物資輸送に使われた臨港鉄道の遺構を活かした「自動車道」です。手前に写る白い橋は、明治40年に建造されたトラス橋で横浜市の歴史的建造物に指定されています。また、レールの先、ゲート状の建物の先には赤レンガ倉庫が見えます。このように、古い物を新しいまちの中に取り込み、それを印象的に見せる工夫が施されています。

興味を持ってまちを眺めると、身近なところにも「好きな景観」を見つけ出すことができると思います。